

本舞台は議会



議員としての本舞台は、やはり議会。定例会、そして各委員会で舌鋒鋭く質問し、主張を貫きました。



さまざまな問題に鋭く切り込む森道議の議会質問。写真上は定例会、下は決算委員会で。

- 昭和28年6月12日 香川県坂出市生まれ
- 昭和47年 国立詫間電波高校(現高専)卒業
- 昭和56年 神戸大学経済学部卒業
- 平成6年 時事通信社退社(22年間勤務)
- 平成7年 北海道議会議員初当選
- 平成15年 同 2期目当選
- ◆公明党北海道本部幹事長
建設常任委員会副委員長
総合開発調査特別委員会理事
- ◆妻と2女の4人家族

森しげゆき後援会事務所

〒003-0025 札幌市白石区本郷通2丁目北3-21
TEL 011-860-4151 / FAX 011-865-9043
ホームページ <http://kmpian.net/usr/mori/>
E-mail sigemori@seagreen.ocn.ne.jp

最近の議会活動から

第2回定例会で一般質問

6月、第2回定例会で一般質問に立ち、教育費の負担軽減や農業、観光、環境問題などについて質問、さらに道警本部の報償費問題を厳しく追及しました。

また、医療給付事業について、低所得者や遠隔地にある更正医療指定医療機関への通院を余儀なくされている方々への支援を図るため、現行の交通費助成制度の見直しが必要ではないかと迫り、道の前向きな検討を引き出しました。

建設常任委員会で本業支援を要請

8月、副委員長を務める建設常任委員会で、建設業のソフトランディング対策での道の対応を質しました。

経営環境が大変厳しい建設業界は、農業や環境など新分野への進出、成果をあげつつありますが、実際は各業者とも「本業」の建設業で生き残りを図りたいという気持が強いことを強調、この声に道が適切に応えていくよう求めました。

第3回定例会で代表質問

9月の第3回道議会定例会では代表質問に立ち、道が出資もしくは補助金を出している172の関与団体の見直しについて「平成18年度以降については何ら方針が示されていない」と指摘、「18年度以降も、引き続き新たな計画のもとで見直しに取り組んでいく」との回答を引き出しました。

また、自閉症・発達障害者への相談支援を行うセンターが函館にしかないことにも触れ、各地域において拠点となるセンターを整備すべき、と強く訴えました。

決算特別委員会でドクターヘリ実現

11月の決算特別委員会で、「ドクターヘリ」が、来年度、正式に導入されることが決まりました。これは、質問に立った森道議が重ねて要請したことから、道が「早期導入に向け取り組む」と表明、2005年度予算案に盛り込むことを明らかにしたものです。

医師がヘリコプターに乗って現場に急行する「ドクターヘリ」は、広大な北海道こそ不可欠であるとの声が強く、森道議がこれまで道議会本会議などでも再三、訴えていました。

もり 木林 しげゆき 通信



2004/2005

冬号

特集

森しげゆき、 全道を走る!!

皆さまのご期待にお応えするため道内を東奔西走する森しげゆき道議。今回の〈通信〉ではそんな森しげゆき道議の『現場の姿』を特集してお送りします。

トピックス 北海道新幹線の着工決まる!!

道民待望の北海道新幹線が、来年度、着工されることが正式に決まりました。

新幹線の開通は公明党が力を入れて取り組んでいたもので、2014年度の開業が予定されています。

当面は本州から新函館までの営業ですが、これにより、計り知れない経済効果がもたらされると期待されています。



2004年11月、道議会建設常任委員会副委員長として、風間ひさし参議院議員とともに、北側国土交通大臣を訪問。高速道路ネットワークの整備を要望するとともに、北海道新幹線についても種々懇談しました。

ごあいさつ

献身的な皆さまのご尽力で議会に送っていただいたから、早いもので、やがて任期の半ばを迎えようとしております。

この間、予想を超えるいくつもの自然災害、なかなか好転しない本道経済、そして道民の信頼を揺るがす道警の不正経理問題と、さまざまな難問や課題に直面してまいりましたが、一つ一つに着実に取り組み、皆さまとお約束したいくつかのことも、実現させることができました。

北海道新幹線の着工が決まるなど、明るい兆しも見え始めておりますが、これからも、道民の皆さまが何を必要とされているのかをしっかりと見きわめ、着実に取り組んでまいりますので、いっそうのご指導をお願い申し上げます。

北海道議会議員 森 成之



10月、世界自然遺産登録への期待が高まる知床国立公園を訪問、今後の課題などを地元関係者と協議しました。1月に同遺産の候補地に選定され、地元では観光客の飛躍的な増加が期待されていますが、一方で、観光客が増えることで貴重な自然が踏み荒らされることにもなりかねず、観光開発と自然保護の両立が大きな課題となっています。

世界遺産に向け課題探る

健康づくりセンターを視察

10月、札幌市中央区の「札幌市中央健康づくりセンター」を訪問、関係者と意見交換したほか、介護予防の一環として行っている筋力トレーニング事業について説明を受けました。



森しげゆき、
全道を走る!!

道議として、また党道本部幹事長として、北海道狭しと駆け回る森しげゆきの日々を追いました。

東へ、西へ

「産学官」連携を推進



10月、北海道の産学官共同研究の一大拠点として注目を集めている「北キャンパス町内会」を視察しました。これは北海道大学内とその周辺に立地する研究機関がネットワーク化されたもので、道内の科学技術の向上と産業の振興に取り組んでいます。

爪跡残した台風18号

全道各地に大きな被害をもたらした台風18号。森道議は幹事長として被害対策の陣頭指揮をとりながら、自身、被害現場にも急行。また知事にも十分な対策をとるよう緊急の申し入れをしました。



高橋知事に被災地の状況を説明

果実が落ちた糸市町のりんご園を視察

7月1日にオープンした「ジョブカフェ北海道(北海道若年者就職支援センター)」を、3日、さっそく視察に訪れました。これは公明党道本部が設置を推進していたもので、就職を希望する若者が早く希望する仕事に就くことを支援するため、職業カウンセリングから適職へのマッチングまでのサービスを行っています。

若年層の就職を支援



我が街、白石



全道を駆けめぐりの中で、我が街、白石の発展にも心を砕く森しげゆき道議。9月には、長年、公約として掲げてきた平和通と中央区を結ぶ平和大橋が完成、渡り初めに参加しました。また8月は川北(=写真下左)、10月には平和通(=同下右)に、地元住民から要望が出ていた一時停止標識の設置に尽力、実現させることができました。



道本部大会で方針示す

11月、公明党北海道本部の大会が札幌市内で開かれ、森しげゆき道議は幹事長として2005年の活動方針などを説明しました。その中で、特に国政を含む各級の選挙で議席増を果たしていく方向性が示されました。

